

# 蛍火たより

ほたるび

VOL3  
2025年  
8月号

正恵寺・野田ほたるローズガーデンより皆さまへ、お知らせ定期便

発行・正恵寺

## ホタルの飼育がはじまります

6月末、正恵寺に待ちに待ったホタルがやってきました。今回届いたのは約100匹のハイケボタルの成虫。皆さまにきれいな光を近くで見させていただきたくて、小さな飼育用パックに入れて管理棟へいらしたお客様にお分けしました。



そして7月20日にはホタルの幼虫がやってきました。正恵寺では、幼虫の飼育に備えて職員の手作り飼育小屋の中にミニビオトープを準備して待ちました。幼虫の飼育は水温(暑さに弱いのです)やエサの管理が難しいのですが、来年の初夏に飼育小屋を舞うホタルの光を皆さまにお見せできるよう、大切に育てていきます。ぜひ、私たちの挑戦を現地まで見にいらしてください。

飼育の過程は正恵寺の刊行物やSNS等でも発信してまいりますので楽しみに！



位職・梅村昌寛よりメッセージ

## 行住坐臥ぎょうじゅうざが

行住坐臥とは、日常の立ち居振る舞いを通して、内面の修業を深めること

「お供え」 供物、供花、線香、ろうそく、焼香と、亡き人へ哀悼を捧げる方法はいくつかある。カドが立たないように丸いもの、子孫繁栄のために種子が多いもの、邪気をはらう匂いの良い花、死出の旅路を照らすろうそく、炊き上げる香に亡き人へ安らかな眠りと焼香する…いずれも弔意を亡き人へ伝える行為だが、その実、それらの行為は遺族へのお悔やみの行為も兼ねていると思う。

私は10歳で母を亡くした。妹は8歳だった。その時の悲しみは時が癒したのではなく、読経とまわりの仲間の励ましでこんにちがあると思う。もうすぐお盆だ。私は人に頼らず、最高の供養を母へできる。経によると、最高の供養とは供物、供花、亡き人の好きなものではなく、亡き人へ捧げる我々の時間だと説く。

今年も母へできるだけだけの時間を割くつもりだ。皆さまもどうか、盆の時期に寺へ来て祈りを捧げてください。

合掌

## ハイケボタルとは？

- ゲンジボタルに似ていることから名づけられました。
- 日本全国に分布しています。
- 体長は約7~10ミリです。
- ゲンジボタルよりも明滅間隔が短く、星が瞬くように光ります。
- 清流はもちろん、比較的汚れた水域(湿地や田んぼなど)にも生息します。
- 幼虫は水中に生息し、水生巻貝(モノアラガイなど)や水生昆虫の幼虫を食べます。



➡ 到着当日の夜のほたるの瞬きを動画でおすそ分け

正恵寺とご縁が深いゲストをお招きします

## インタビュー 03

正恵寺前管理人 松本孝子さん

聞き手/正恵寺住職・梅村昌寛



松本孝子さん 昭和 25 年生まれ。横浜市出身。30 歳の時に夫・昭夫さんと出会い結婚。平成 20 年頃からご夫婦で正恵寺の住み込みの管理人となり、2 年前に昭夫さんが亡くなるまでお墓の管理をされていました。

### お父さんは器用な「なんでも屋」でしたね

—松本さんが正恵寺に関わるようになったきっかけを教えてください。

最初はシルバーでここの草むしりをしていたんですよ、10人くらいで。それで気に入ってもらって「ここの専属になってくれないか?」って誘われたんです。家はあったんですけど、できれば(寺の本堂の)部屋が空いているし、門の開け閉めもあるから「もし良かったら住み込みで入ってくれないか?」って言われて。

—それでご夫婦で入られたんですね。仕事はどんなことをしていたんですか? 法事もやっていたんですね?

やりましたねえ。法事は西田さん(正恵寺前住職)がお経をあげて、お父さんが納骨をやっていたんです。うちのお父さんは「なんでも屋」でした。器用な人だったから気に入ってもらえたんです。

—草刈りもずっとやってくださっていたんですね?

お父さんがひとりで全部やりました。でも、ひとりじゃとてもじゃないけど終わらないんですよ。だから年2回くらいシルバーさんに入ってもらっていました。

—近所の草むしりもやってたって聞きましたよ。すごいな。近所の方はみなさん今でも言いますもんね、「松本さんは元気ですか?」って。今度、そのお父さんの三回忌と納骨を正恵寺でさせてもらいますが、今、どんな心境ですか?

私ね、自分の具合が悪いときは「いいかげん迎えに来てよ!」ってお父さんに言うんですよ。調子いい時は「まだ来なくていいからねー」って言うんですけど(笑) 納骨のことは「お父さん、もう3年だからいいよね」って話してます。

—ここ(正恵寺)で人生の最後にいろいろなことをやって、たくさんお知り合いもできて、その寺のお墓に納骨されることになりましたね。

お父さんが入るお墓の列は、全部お父さんが作ったんですよ。だから「お父さんが作ったところに入れるよ」って言ってます。

—そうですね。カロート作って墓石を持ってきて…思い出があるんですよ。最後にみんなで納めてあげたいと思っています。

### お父さんとまた一緒にいらればいいです

—我々息子世代は身近で「死」をあまり経験していないので、松本さんくらいの年齢の方の死生観を聞かせてもらって、伝えていきたいと思っているんですけど、何かありますか?

若い頃は病気になるなんて思っていなかったし、今この歳になって「お父さん、どうしちゃったんだろうね私は」なんて思うんです。お父さんは、私のことは心配だったと思いますよ。私は家の中のことは電気の球ひとつ替えることもやらなかったの、全部お父さんがやってくれていたの。今は息子がよくやってくれます。去年の暮れにお風呂場で転んで骨を折っちゃったんですけど、それから息子は「お母さん、風呂出るまで俺がいるから」って言うってくれるんですよ。

—いい息子さんですね。みんないずれ老いていくし、病にかかると、やがて死ぬんです。それは生まれるから発生することで、それを釈迦は「生老病死」と言ったんですね。松本さんは今まさに老いと、病気のところだと思んですけど、自分が衰えていく中で、ひと区切りとしてお父さんを葬(おく)ってあげられた。次は自分じゃないですか。どうやって葬(おく)られたいですか?

私はね…大きくやらなくていいんです。息子と孫がいるので、それでいいんです。お墓も家から近いから、暇だったらちょくちょく来るだろうしね。贅言言わないです。お父さんとまた一緒にいらればそれで…。

—生まれ変わってもお父さんとまた一緒にになりたいですか?

はい!! なんでもできる人なので(笑)

ありがとうございました。これからもお元気で過ごしてください!



正恵寺では\*ご葬儀\*法事\*各種ご祈祷\*ペット葬儀\*ペット供養\*本堂・お茶室のレンタルスペースのご相談を随時受け付けております。お気軽にお電話、ご来園ください。

正恵寺・野田ほたるローズガーデン

住所：千葉県野田市船形 620

電話番号：04-7196-6205

☆最新情報はX、インスタ、またはホームページで

X

Instagram

Homepage



野田ほたるローズガーデン  
Noda Hotaru Rose Garden